

# 28年1月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年 1月1日～ 28年1月10日

## 2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
1月分の回答企業数は6社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/1月	2月	3月
入荷動向	国産材製材品	△ 8.3	△ 8.3	8.3
	外材製材品	△ 25.0	8.3	8.3
	その他	0.0	12.5	12.5
販売動向	国産材製材品	20.0	10.0	20.0
	外材製材品	△ 8.3	0.0	8.3
	その他	0.0	10.0	10.0
在庫動向	国産材製材品	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3
	外材製材品	△ 8.3	△ 16.7	△ 16.7
	その他	0.0	△ 10.0	△ 10.0

・国産材製材品の入荷は1月、2月の減少が、3月は増加。外材は1月の減少が、2月、3月は増加。その他は1月の横ばいが、2月、3月は増加。

・国産材製材品の販売は3ヵ月連続して増加。外材は1月の減少が、2月は横ばい、3月は増加。その他は1月の横ばいが、2月、3月は増加。

・国産材及び外材他製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。その他は1月の横ばいが、2月、3月は減少。

### (2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/1月	2月	3月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	0.0	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	10.0	0.0	0.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	8.3	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	8.3	8.3
	柱角 KD12×3	0.0	8.3	8.3
	土台角 10.5×4	16.7	8.3	8.3
	土台角 12×4	8.3	8.3	8.3
	通し柱 12×6	10.0	10.0	10.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	0.0	0.0	0.0	
米マツ割物	0.0	0.0	0.0	
北洋エゾマツタルキ	33.3	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	25.0	8.3	8.3	

・スギ製材品の価格は、1月の間柱及びヌキがやや強保合である他は、全品目で3ヵ月連続して横ばい。

・ヒノキ製材品の価格は、柱角は1月の横ばいが、2月、3月はやや強含み。土台角及び通し柱はやや強含みで推移。

・カラマツ土台角、米マツ平角及び割物は3ヵ月連続して横ばい。北洋エゾマツタルキは1月の強保合が2月、3月は横ばい。北洋アカマツタルキは強含み品不足で推移。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・スギ入荷順調、WW入荷ばらつきあり。アカマツ4m、Sグレードの入荷少ない。スギ防音工事動きあり、WW、アカマツは様子伺い。1月記念市に向けてスギ、WW、アカマツともに在庫増加（関東）。
- ・11～12月は荷動き低迷。1月以降回復を願う（中部）。
- ・スギ、ヒノキ、米材の入荷は横ばい、北洋製材品はA材が品不足。販売は全て減少傾向、住宅着工次第。外材は入荷状況良くない（中部）。
- ・入荷、販売動向とも年末年始は例年通り鈍い。プレカット工場からのヒノキ土台角の引合が多少多い（関西）。

(価格動向)

- ・スギ柱角（KD10.5cm、12.0cm）60,000円/m<sup>3</sup>、スギ桁角（東北グリーン材）40,000円/m<sup>3</sup>、母屋角（東北材）40,000円/m<sup>3</sup>、スギタルキ（東北材）45,000円/m<sup>3</sup>、スギ間柱（KD）60,000円/m<sup>3</sup>、スギ加工板（グリーン材）東2,800円、（KD）東4,500円、スギヌキ（東北）40,000円/m<sup>3</sup>、スギ平割（プレーナー）45,000円/m<sup>3</sup>、同（ラフ）40,000/m<sup>3</sup>、ヒノキ柱角（KD）・土台角10.5cm 85,000円/m<sup>3</sup>、ヒノキ土台角12.0cm 75,000円/m<sup>3</sup>、米マツ平角 KD65,000円/m<sup>3</sup>、米マツ割物AD 65,000円/m<sup>3</sup>、北洋アカマツタルキ（アSEMBル単価）（S）68,000円/m<sup>3</sup>、（P）58,000円/m<sup>3</sup>、（バンドル単価）（S）65,000円/m<sup>3</sup>、（P）55,000円/m<sup>3</sup>。
- ・スギは変化なし。ヒノキは、構造材は全般に販売不振（中部）。
- ・スギは依然大きな変動ない。ヒノキは現状維持。米マツ現状維持。北洋エゾマツタルキ、北洋アカマツタルキA材は品不足（中部）。
- ・北洋アカマツの良材が少ないため価格上昇（関西）。